

エコアクション21

環境経営レポート

令和 6年度

(活動期間: 令和 6年 8月 ~ 令和 7年 7月)



四万十の流れと沈下橋(高知県四万十市佐田)



エコアクション21
認証番号0007526

いのこ ぎ けん せつ
豚 座 建 設 株 式 会 社

高知県四万十市古津賀2丁目6番地

目 次

1	組織の概要		2
2	対象範囲、レポートの対象期間及び発行日		3
3	環境経営方針		4
4	環境経営実施体制		5
	・組織表		
	・役割、責任、権限		
5	環境経営目標		6
	・単年度目標		
	・中長期目標		
	環境経営目標(原単位)		7
	・単年度目標		
	・中長期目標		
6	環境活動計画		8
	・SDGs		
7	環境経営目標の達成状況		10
	・本年度実績		
	・本年度実績(原単位)		
	・実績と取組内容		11
8	環境活動計画の取組結果		17
9	次年度の環境経営目標		18
	・単年度目標		
	・中長期目標		
	次年度の環境経営目標(原単位)		19
	・単年度目標		
	・中長期目標		
10	次年度の環境活動計画		20
11	環境関連法規等の遵守状況		21
	・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果		
	・環境関連法規等の違反、訴訟等の有無		
12	代表者による全体評価		23

発 行 日 : 令和 7年 10 月 30日
 次回発行予定: 令和 8年 10 月 頃

発 行 責 任 者 : 三吉 規文

1. 組織の概要

【事業所名】 豚座建設株式会社

【代表者】 代表取締役 佐田 憲昭

【会社設立】 昭和 38 年 3 月 12 日

【資本金】 2,000 万円

【所在地】 《本社》高知県四万十市古津賀2丁目6番地
《具同倉庫》高知県四万十市具同7388番地13

【環境管理責任者】 《環境管理責任者》 総務部長 三吉 規文
《連絡先担当者》 // //
《連絡先》 《TEL》0880-34-6031
《FAX》0880-34-2850
《E-Mail》inoko3@poppy.ocn.ne.jp

【事業内容】 ≫建設業（主に土木・建築等の工事の施工）

特定建設業（高知県知事許可）

建設業許可番号 (特-5)第000752号
許可年月日 令和5年9月30日
建設業の種類 土木工事業
建築工事業
とび・土工工事業
舗装工事業
造園工事業
水道施設工事業
解体工事業

一般建設業（高知県知事許可）

建設業許可番号 (般-5)第000752号
許可年月日 令和5年9月30日
建設業の種類 管工事業

≫重機・自動車修理・整備業（使用済自動車の解体は行わない）

自動車分解整備事業

許可番号 四国運輸局 四運証第80-349号

【事業規模】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
完成工事高 (百万円)	1,153	1,512	1,288	3,141	1,810
従業員数 (名)	62	61	62	70	72
本社敷地面積 (m ²)	13,320	13,320	13,320	13,320	13,320
〃 延床面積 (m ²)	2,133	2,133	2,133	2,133	2,133
具同倉庫敷地面積 (m ²)	1,593	1,593	1,593	1,593	1,593
〃 延床面積 (m ²)	490	490	490	490	490

各年度の役職員数は、各年7月末日現在
会計年度は8月～7月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【 対 象 範 囲 】 豚座建設株式会社

≪ 本 社 ≫ 高知県四万十市古津賀2丁目6番地

≪ 具 同 倉 庫 ≫ 高知県四万十市具同7388番地13

≪対象事業≫	土木工事業	水道施設工事業
	建築工事業	解体工事業
	とび・土工工事業	管工事業
	舗装工事業	重機・自動車修理業

【レポートの対象期間】 令和6年8月～令和7年7月

【レポートの発行日】 令和7年10月30日

【作成責任者】 環境管理責任者 三吉 規文



3. 環境経営方針

環境理念

豚座建設株式会社は、「より高度な技術、創意工夫をもって地球環境に貢献する。」という理念に基づき、次のとおり環境経営方針を定め、これを策定します。

環境経営方針

近年、私たちの日常生活においては快適な生活を送る事が出来るように、便利な道具・食糧品が数多く溢れています。

その代償として多量のエネルギー・資源が消費され、また多量の廃棄物を生み出し大量のCO₂が排出され、近年みられる気候変動・生物生態系の異常など、地球環境に多大な負荷を与えています。

この重要課題に対応し、人類の目標とする「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」を目指し、私達は事業活動における環境負荷の低減を図り、以下の取り組みを含め、自主的・積極的に環境経営活動に取り組み、継続的改善による環境経営を推進していきます。

1. 事業活動に適用される環境関連法令、規則、協定等を遵守します。
2. 当社の環境マネジメントシステムを継続的に改善し、環境保全活動を展開します。
3. 次の項目を重点活動として、事業活動の環境負荷の低減を推進します。
 - (1) 建設工事から生じる環境への影響を把握し、環境に配慮した施工の実施、資機材の利用を促進します。
 - (2) 電気、燃料等のエネルギーの使用量を低減し、CO₂削減を行います。
 - (3) 廃棄物の再資源化を推進し、排出量を削減します。
 - (4) 水の使用量を低減します。
 - (5) 化学物質を適正管理します。
 - (6) 地域社会における環境保全活動に積極的に参加します。
 - (7) 環境意識の改善を図り、グリーン購入及びエコドライブを実施します。
 - (8) 建設現場での汚濁水流出を防止し、四万十川の水環境に配慮します。
4. この環境経営方針は、監督会・朝礼・ミーティング等を活用して、全従業員に周知させるとともに社内教育を実施し、環境保全活動の重要性を啓発します。また、当社はこの方針を一般に開示します。
5. 環境経営レポートを作成し、外部に公表します。

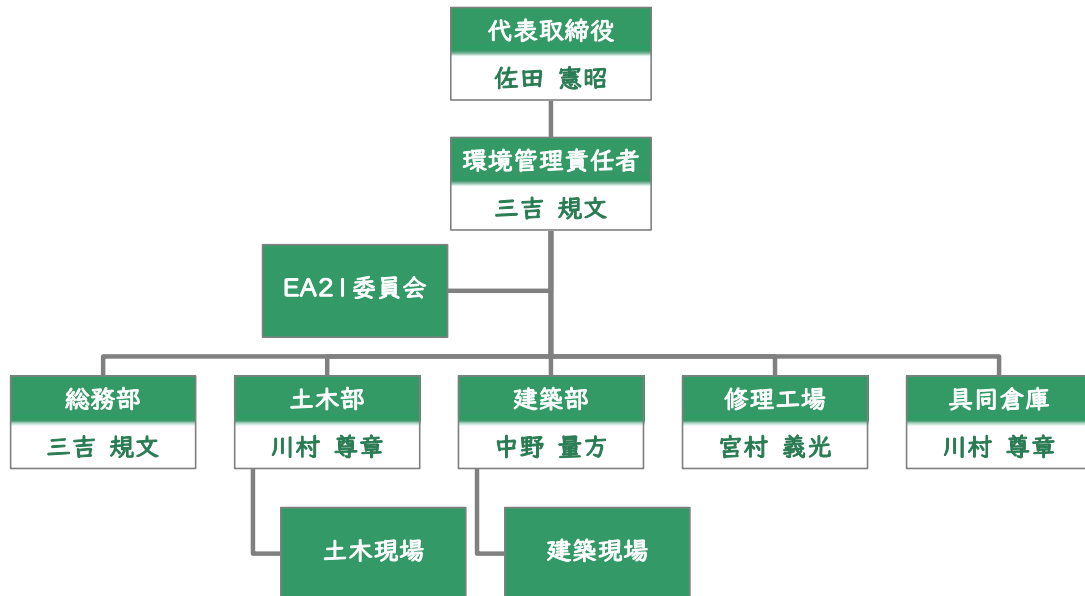
平成 24 年 11 月 15 日
令和 3 年 5 月 17 日 一部改定

豚座建設株式会社
代表取締役 佐田寛昭



4. 環境経営実施体制

【1.組織表】



【2.役割・責任・権限表】

	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境管理責任者及び部門の責任者の任命 環境経営システムを適切に実行するために必要な「資源」の提供 環境経営目標、環境経営計画、環境経営実施体制の承認 環境への取組の評価・見直しを実施し、必要な指示を行う 課題とチャンスの明確化 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、運用、管理 環境経営目標、環境活動計画、環境経営実施体制の承認 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の承認 環境経営目標の達成状況の把握、分析 環境経営活動の取組結果を代表取締役へ報告 環境経営レポートの作成、公表
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 委員会の開催 環境管理責任者の役割・業務遂行の補助 環境負荷の自己チェック表及び環境への取組の自己チェック表の作成 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の把握 環境経営目標、環境活動計画、環境経営実施体制原案の作成 環境関連の外部コミュニケーション窓口
部門の責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解 環境経営方針の部門内への周知 環境経営目標及び環境経営活動の理解、実施 部門内における環境経営システムの実施 環境関連法規等の遵守 部門内の従業員に対する教育訓練の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解 環境関連法規等の遵守 環境経営目標及び経営活動計画の理解、実施 環境経営への積極的な取組

5. 環境経営目標

【1. 単年度目標】

項目	単位	基準年 平成28年度 H28.08-H29.07	過去4年間 排出量の平均 R02.08-R06.07	目標 令和6年度 R06.08-R07.07	備考 ※3	
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	271,850	244,202	237,946	平均より約5%削減	※1
燃料使用量	(L)	90,148	80,089	75,261	平均より約3%削減	
【内訳】 ガソリン	(L)	25,577	35,588	34,520		
軽油	(L)	62,626	39,936	38,738		
灯油	(L)	1,945	2,065	2,003		
電力使用量	(kWh)	80,257	98,901	97,912	平均より約1%削減	
LPガス使用量	(kg)	111	183	182	平均より約1%削減	
用水使用量	(m ³)	748	1,052	1,041	平均より約1%削減	
一般廃棄物排出量	(kg)	2,750	2,604	2,526	平均より約3%削減	
産業廃棄物排出量	(t)	740	1,435	1,392	平均より約3%削減	
産業廃棄物再資源化率	(%)	90.5	91.0	90.0		
環境美化活動	(回)	10	10	10		
環境負荷の少ない工事件数	(%)	(11/11件) 100	100	100		※2

※1. 購入電力のCO₂排出量の算出については、電気事業者別のCO₂排出係数（平成30年12月27日公表）の
四国電力㈱の調整後排出係数 0.535 (kg-CO₂/kWh) を使用。

※2. 環境負荷の少ない工事件数

- ICT機器を活用し作業の効率化、工期短縮につなげる
- 建設副産物の再利用
- 排水の汚濁防止対策
- 環境に影響の少ない工法の提案、採用 等

※3. 昨年度の実績と過去4年間の実績の平均を参考に、各項目別に削減率を設定。

【2. 中長期目標】

（平成28年 8月～平成29年 7月を基準年とする。）

項目	単位	基準年 平成28年度 H28.08-H29.07	目標 令和6年度 R06.08-R07.07	前年度目標より約1%削減 令和7年度 R07.08-R08.07	前年度目標より約1%削減 令和8年度 R08.08-R09.07	前年度目標より約1%削減 令和9年度 R09.08-R10.07
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	271,850	237,946	235,567	233,212	230,880
燃料使用量	(L)	90,148	75,261	74,508	73,763	73,026
【内訳】 ガソリン	(L)	25,577	34,520	34,175	33,833	33,495
軽油	(L)	62,626	38,738	38,351	37,967	37,587
灯油	(L)	1,945	2,003	1,983	1,963	1,944
電力使用量	(kWh)	80,257	97,912	96,933	95,964	95,004
LPガス使用量	(kg)	111	182	180	178	177
用水使用量	(m ³)	748	1,041	1,031	1,020	1,010
一般廃棄物排出量	(kg)	2,750	2,526	2,501	2,476	2,451
産業廃棄物排出量	(t)	740	1,392	1,378	1,364	1,351
産業廃棄物再資源化率	(%)	90.5	90.0	90.0	90.0	90.0
環境美化活動	(回)	10	10	10	10	10
環境負荷の少ない工事件数	(%)	(11/11件) 100	100	100	100	100

5. 環境経営目標(原単位 売上百万円当り)

【1. 単年度目標】

項目	単位	基準年 平成28年度 H28.08-H29.07	過去4年間 排出量の平均 R02.08-R06.07	目標 令和6年度 R06.08-R07.07	備考 ※3
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂ /百万円)	168.2	166.7	157.5	平均より約5%削減 ※1
燃料使用量	(L/百万円)	55.8	53.1	53.1	平均より約3%削減
【内訳】 ガソリン	(L/百万円)	15.8	23.2	22.5	
軽油	(L/百万円)	38.8	26.6	25.8	
灯油	(L/百万円)	1.20	1.40	1.36	
電力使用量	(kWh/百万円)	49.7	65.9	65.3	平均より約1%削減
LPガス使用量	(kg/百万円)	0.069	0.143	0.142	平均より約1%削減
用水使用量	(m ³ /百万円)	0.463	0.710	0.703	平均より約1%削減
一般廃棄物排出量	(kg/百万円)	1.702	1.694	1.643	平均より約3%削減
産業廃棄物排出量	(t/百万円)	0.458	0.953	0.925	平均より約3%削減
産業廃棄物再資源化率	(%)	90.5	89.2	90.0	
環境美化活動	(回)	10	10	10	
環境負荷の少ない工事件数	(%)	(11/11件) 100	100	100	※2

※1. 購入電力のCO₂排出量の算出については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成30年12月27日公表)の
四国電力(株)の調整後排出係数 0.535 (kg-CO₂/kWh)を使用。

※2. 環境負荷の少ない工事件数

- ICT機器を活用し作業の効率化、工期短縮につなげる
- 建設副産物の再利用
- 排水の汚濁防止対策
- 環境に影響の少ない工法の提案、採用 等

※3. 昨年度の実績と過去4年間の実績の平均を参考に、各項目別に削減率を設定。

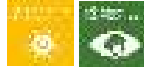
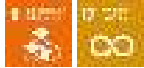
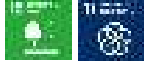
【2. 中長期目標】

(平成28年 8月～平成29年 7月を基準年とする。)

項目	単位	基準年 平成28年度 H28.08-H29.07	目標 令和6年度 R06.08-R07.07	前年度目標より約1%削減 令和7年度 R07.08-R08.07	前年度目標より約1%削減 令和8年度 R08.08-R09.07	前年度目標より約1%削減 令和9年度 R09.08-R10.07
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂ /百万円)	168.2	157.5	155.9	154.4	152.8
燃料使用量	(L/百万円)	55.8	53.1	49.2	48.7	48.2
【内訳】 ガソリン	(L/百万円)	15.8	22.5	22.3	22.1	21.8
軽油	(L/百万円)	38.8	25.8	25.5	25.3	25.0
灯油	(L/百万円)	1.20	1.36	1.35	1.33	1.32
電力使用量	(kWh/百万円)	49.7	65.3	64.6	64.0	63.4
LPガス使用量	(kg/百万円)	0.069	0.142	0.141	0.139	0.138
用水使用量	(m ³ /百万円)	0.463	0.703	0.696	0.689	0.682
一般廃棄物排出量	(kg/百万円)	1.702	1.643	1.627	1.610	1.594
産業廃棄物排出量	(t/百万円)	0.458	0.925	0.916	0.907	0.898
産業廃棄物再資源化率	(%)	90.5	90.0	90.0	90.0	90.0
環境美化活動	(回)	10	10	10	10	10.0
環境負荷の少ない工事件数	(%)	(11/11件) 100	100	100	100	100

6. 環境活動計画

【1. 期間：令和 6 年 8 月 ～ 令和 7 年 7 月】

項目		取組み内容		担当者	期間
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	急発進、急加速の禁止		各部門長、各現場代理人	R06.08-R07.07
		不要なアイドリングの禁止		各部門長、各現場代理人	//
		重機による積込みを効率良く行う		各部門長、各現場代理人	//
	電力使用量 削減	昼休み・退社時の消灯を徹底する		各部門長、各現場代理人	//
		長時間使用しないOA機器は電源を切り、不必要な機器はプラグを抜く		各部門長、各現場代理人	//
		適正な冷暖房の温度設定を徹底する		各部門長、各現場代理人	//
用水使用量削減 (排水量削減)		こまめに蛇口の栓を閉める		各部門長、各現場代理人	//
		漏水箇所を発見したら、早急に改善する		各部門長、各現場代理人	//
廃棄物削減	一般廃棄物	文書等で可能なものについては回覧をする		各部門長、各現場代理人	//
		両面コピー・両面印刷をする		各部門長、各現場代理人	//
		資源ごみとして処理をする(学校の廃品回収への提供等)		各部門長、各現場代理人	//
	産業廃棄物	適正処理をし、可能なものは再使用・再生利用につながる処理をする		川村、中野、各現場代理人	//
		マニフェスト管理の徹底		各部門長	//
		作業ミスによる排出量の増加をさせない		川村、中野、各現場代理人	//
環境保全活動の実施		ロードボランティア活動を実施する		三吉	//
		地域のボランティア活動(清掃活動等)に参加する		三吉	//
		事務所・現場・修理工場周辺の清掃・整理整頓をする		各部門長、各現場代理人	//
化学物資の適正な取り扱い		適正な保管を行い、盗難に遭わないようにする		各部門長、各現場代理人	//
		適正に使用し、近隣等への漏洩防止をする		各部門長、各現場代理人	//
		PRTR制度対象物質の使用量、もしくは購入量の把握		各部門長、各現場代理人	//
環境負荷の少ない 工事の実施		環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用		各部門長、各現場代理人	//
		低騒音、排出ガス対策型重機の使用		各部門長、各現場代理人	//
		水質汚濁の防止対策を実施する		各部門長、各現場代理人	//

【2. 具体的な計画】

項目	取組み内容	担当者	実施期間
燃料使用量の削減	燃費の良いハイブリッド車を積極的に導入していく(計画:4台)	役員、各部門長	R06.12末まで
環境負荷の少ない工事の実施	ICT機器を活用して工期短縮を図り、各使用量の削減に繋げていく	各部門長、各現場代理人	R07.07まで

【3. 中長期計画】

項目	取組み内容	担当者	実施期間
電気使用量の削減	人感センサー設置による電気の消し忘れ防止策の検討	役員	未定
用水使用削減	雨水利用設備の整備についての検討	役員	R10まで

6. SDGs

SDGs ー継続可能な開発目標ー



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals :SDGs)」は、産業革命以降急激に活発化した人間活動により、経済・社会の基盤でもある地球の持続可能性が危ぶまれていることに端を発します。

2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までの国際目標です。SDGsは、貧困や飢餓から環境目標、経済成長やジェンダー平等まで幅広い課題が網羅されています。

持続可能な世界を実現するため、豊かさを求めながら、地球環境を守るため17のゴールとゴールを達成するために169のターゲットが設定され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

人々が豊かな生活を送るための事業を、生業としている建設業としてもこの問題・目標は避けては通れないものと考えます。豚座建設としてもSDGsを支援し、まずは取り組める問題から真摯に取り組み、目標達成に貢献していきます。

働きやすい職場環境	地域貢献	環境問題
  	  	  
 	 	  
<p>社員とその家族が健康で働けるように、様々な取り組みを継続的に行っています。</p> <p>「健康経営優良法人」や、「ワークライフバランス推進企業認証」、「仕事と育児の両立」などに取り組んでいます。</p>	<p>豚座建設は地域社会とともに、発展していくことを目指しています。</p> <p>建設業として技術をつくし、豊かな生活を支援すること、様々なボランティア活動を展開しています。</p>	<p>本来の地球のため、持続可能な社会の実現に向けて地球環境に配慮した建設活動を目指しています。</p> <p>様々な活動に取り組み、「エコアクション21」の認定を受けています。</p>

7. 環境経営目標の達成状況

本年度実績

項目	単位	基準年 平成28年度 H28.08-H29.07	目標 令和6年度 R06.08-R07.07	実績 令和6年度 R06.08-R07.07	達成率 (%) ※3	評価 ※4	
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	271,850	237,946	311,305	130.8	×	※1
燃料使用量	(L)	90,148	75,261	105,629	140.3	×	
【内訳】 ガソリン	(L)	25,577	34,520	40,070	116.1	×	
軽油	(L)	62,626	38,738	64,357	166.1	×	
灯油	(L)	1,945	2,003	1,201	60.0	○	
電力使用量	(kWh)	80,257	97,912	91,817	93.8	○	
LPガス使用量	(kg)	111	182	63	34.3	○	
用水使用量	(m ³)	748	1,041	888	85.3	○	
一般廃棄物排出量	(kg)	2,750	2,526	2,872	113.7	×	
産業廃棄物排出量	(t)	740	1,392	588	42.3	○	
産業廃棄物再資源化率	(%)	90.5	90.0	91.4	101.6	○	
環境美化活動	(回)	10	10	11	110.0	○	
環境負荷の少ない工事件数	(%)	(11/11件) 100	100	(13/13件) 100	100.0	○	※2

本年度実績(原単位 売上百万円当り)

項目	単位	基準年 平成28年度 H28.08-H29.07	目標 令和6年度 R06.08-R07.07	実績 令和6年度 R06.08-R07.07	達成率 (%) ※3	評価 ※4	
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂ /百万円)	168.2	157.5	172.0	109.2	×	※1
燃料使用量	(L/百万円)	55.8	53.1	58.4	109.9	×	
【内訳】 ガソリン	(L/百万円)	15.8	22.5	22.1	98.4	○	
軽油	(L/百万円)	38.8	25.8	35.6	137.8	×	
灯油	(L/百万円)	1.20	1.36	0.66	48.8	○	
電力使用量	(kWh/百万円)	49.7	65.3	50.7	77.7	○	
LPガス使用量	(kg/百万円)	0.069	0.142	0.035	24.3	○	
用水使用量	(m ³ /百万円)	0.463	0.703	0.490	69.8	○	
一般廃棄物排出量	(kg/百万円)	1.702	1.643	1.587	96.6	○	
産業廃棄物排出量	(t/百万円)	0.458	0.925	0.325	35.1	○	
産業廃棄物再資源化率	(%)	90.5	90.0	91.4	101.6	○	
環境美化活動	(回)	10	10	11	110.0	○	
環境負荷の少ない工事件数	(%)	(11/11件) 100	100	(13/13件) 100	100	○	※2

※1. 購入電力のCO₂排出量の算出については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成30年12月27日公表)の
四国電力(株)の調整後排出係数 0.535 (kg-CO₂/kWh)を使用。

※2. 環境負荷の少ない工事件数 **13件**(完成工事高 1,000万円以上の工事を対象とした)

- ICT機器を活用し作業の効率化、工期短縮につなげる
- 建設副産物の再利用
- 排水の汚濁防止対策
- 環境に影響の少ない工法の提案、採用 等

※3. 達成率=(実績値/目標値)×100(%)

※4. 評価 達成=○ 未達成=×

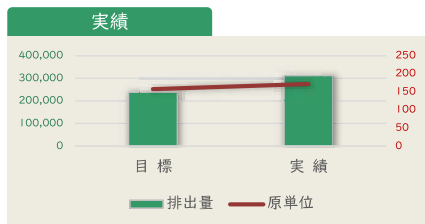
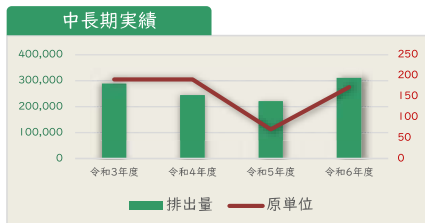
7. 環境経営目標の達成状況

実績と取組内容

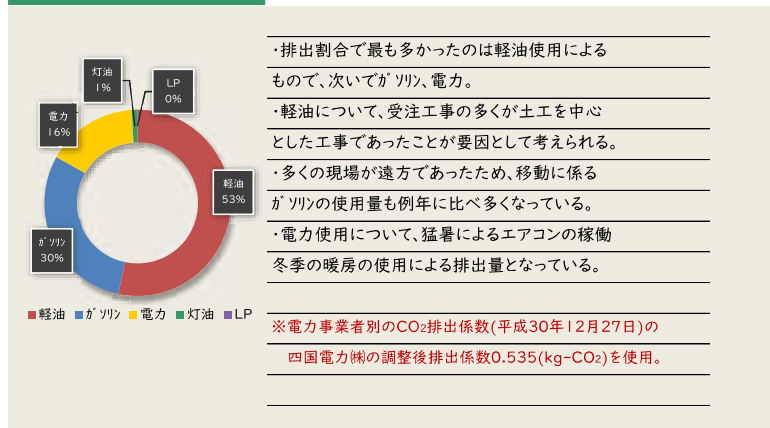
CO₂排出量 (kg-CO₂)

	目標	実績	達成率(%)
排出量	237,946.0	311,305.0	<u>130.8</u>
原単位	157.5	172.0	<u>109.2</u>

評価		※
達成率	取組内容	
×	△	



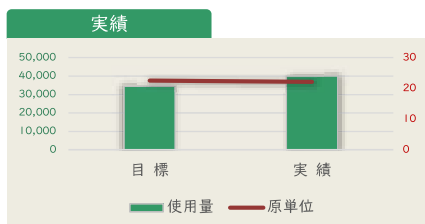
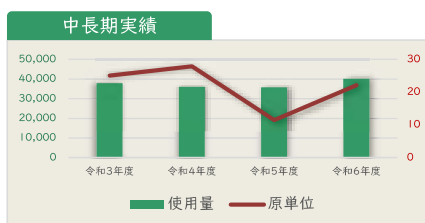
排出割合



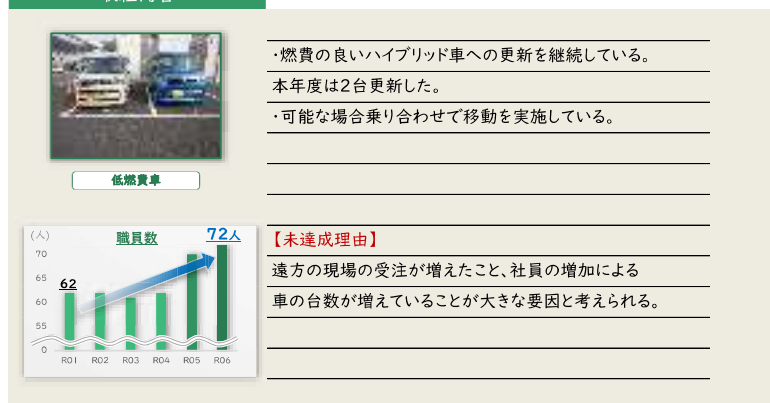
ガソリン使用量 (L)

	目標	実績	達成率(%)
使用量	34,520.0	40,070.3	<u>116.1</u>
原単位	22.5	22.1	<u>98.4</u>

評価		※
達成率	取組内容	
△	○	



取組内容



※評価基準

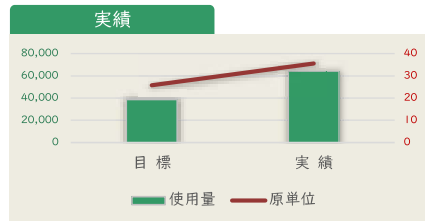
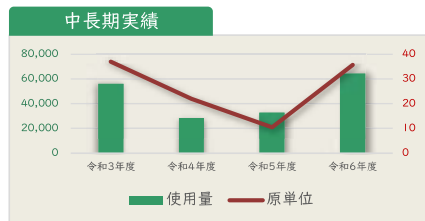
- 達成率 ○: 使用量、原単位ともに目標達成
 △: 使用量、原単位どちらか目標未達成
 ×: 使用量、原単位ともに目標未達成

- 取組内容 ○: 環境活動計画に沿った取り組みが実施できている
 △: 取り組み結果に一部改善点がある
 ×: 環境活動計画を再度指導し、取り組む必要がある

軽油使用量 (L)

	目 標	実 績	達成率(%)
使用量	38,738.0	64,357.0	166.1
原単位	25.8	35.6	137.8

評 価 ※	
達成率	取組内容
×	○



取組内容



重機の稼働増



・排ガス対策の重機を導入し、ICTを活用した作業の効率化を行っている。

・作業前点検や定期点検は継続して実施している。

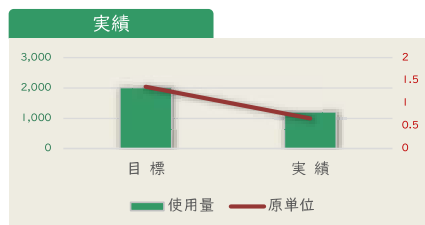
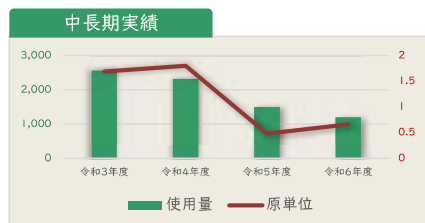
【未達成理由】

目標より約66%オーバーという結果となった。受注した工事が土工が多く重機の稼働が大きくなった。

灯油使用量 (L)

	目 標	実 績	達成率(%)
使用量	2,003.0	1,201.4	60.0
原単位	1.36	0.66	48.8

評 価 ※	
達成率	取組内容
○	○



取組内容



ストーブの稼働

・長時間の退出時には消化を徹底し、不必要な稼働をしない。

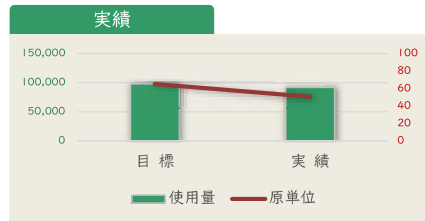
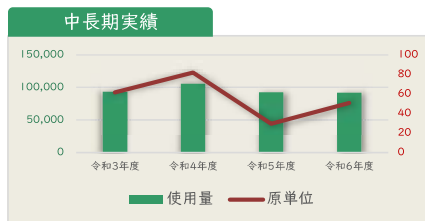
・ウォームピズにも取り組み、効率良く利用している。

・時折の換気も心掛けている。

電力使用量 (kWh)

	目標	実績	達成率(%)
使用量	97,912.0	91,817.0	93.8
原単位	65.3	50.7	77.7

評価		※
達成率	取組内容	
○	△	



取組内容

グリーンカーテン

・グリーンカーテンを設置し、夏場の冷房負荷の削減に取組んでいる。

・退出時など不在になる際には消灯を心掛けている。

【改善点】

・使用していない機器の電源を切るようにしているが、時折、PC等の切り忘れがみられた。

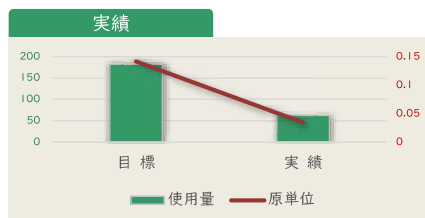
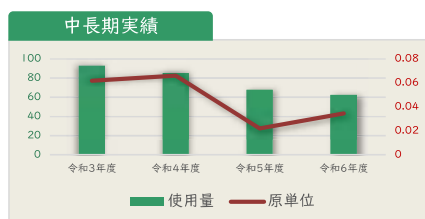
また、トイレの電気の消し忘れもみられた。

電源OFF

LPガス使用量 (kg)

	目標	実績	達成率(%)
使用量	182.0	62.5	34.3
原単位	0.142	0.035	24.3

評価		※
達成率	取組内容	
○	○	



取組内容

(kg) 月別使用量

・主に冬季の使用が多くなっている。

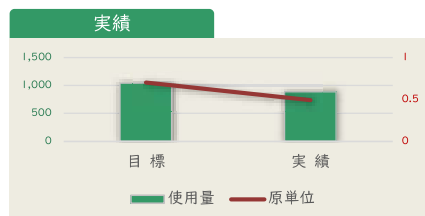
炊事場において、必要以上に温水の出っぱ放しをしないように心掛けている。

洗い物はまとめて洗いを心掛けている。

用水使用量 (m³)

	目 標	実 績	達成率(%)
使用量	1,041.0	887.7	85.3
原単位	0.703	0.490	69.8

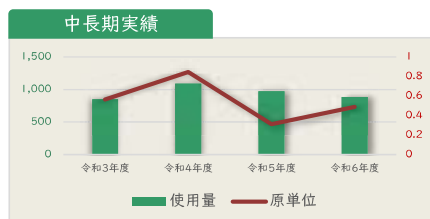
評 価 ※	
達成率	取組内容
○	○



取組内容

自動水栓

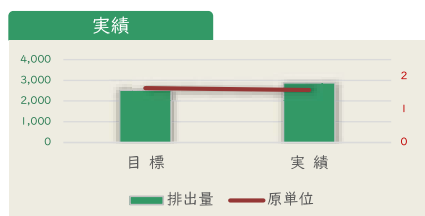
- ・社内の蛇口は自動水栓に切り替えている。
- ・夏場のグリーンカーテンなど水やりで使用量が多くなっている。



一般廃棄物排出量 (kg)

	目 標	実 績	達成率(%)
排出量	2,526.0	2,872.0	113.7
原単位	1.643	1.587	96.6

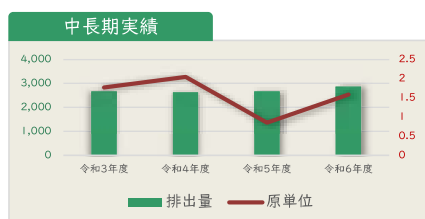
評 価 ※	
達成率	取組内容
△	○



取組内容

分別と再資源化

- ・可能な限り両面印刷を心掛け、ミスプリントは裏紙として再利用している。
- ・文書等は回覧し、必要以上に印刷しない。
- ・資源ごみは分別を心掛け、再資源化に努めている。



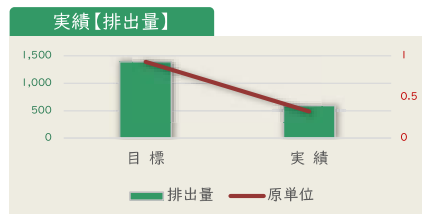
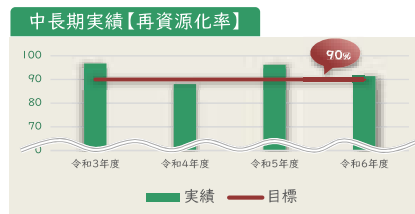
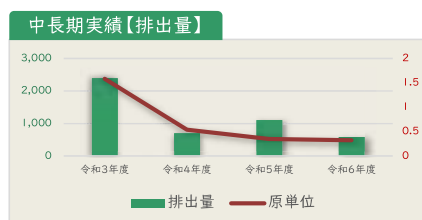
産業廃棄物排出量 (t) 再資源化率(%)

	目標	実績	達成率(%)
排出量	1,392.0	588.2	42.3
原単位	0.925	0.325	35.1

	目標	実績	達成率(%)
再資源化率	90.0	91.4	101.6

評価 ※	
達成率	取組内容
○	○

達成率	取組内容
○	○



取組内容

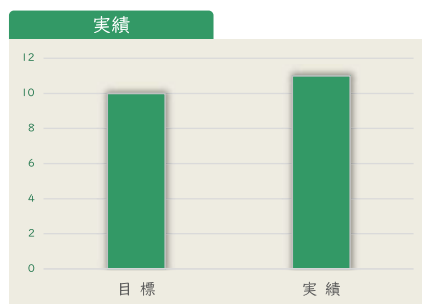
マニフェストの管理

- ・マニフェスト管理を徹底し、排出量の把握を確実にしている。
- ・適正処理をし、再生利用につながる処理を徹底している。

環境美化活動 (回)

	目標	実績	達成率(%)
回数	10.0	11.0	110.0

評価 ※	
達成率	取組内容
○	○



取組内容

ロードボランティア

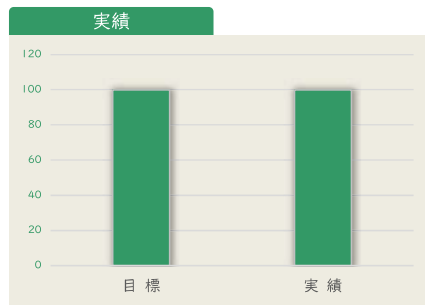
古津賀国道花の会

- ロードボランティア
 - ・毎月、県道20号線沿いの清掃活動を実施した。
- 古津賀国道花の会
 - ・年2回、国道56号線沿いの花壇へ花の移植を周辺のゴミ拾いなどを行った。

環境負荷の少ない工事件数 (%)

	目 標	実 績	達成率(%)
%	100.0	100.0	100.0

評 価 ※	
達成率	取組内容
○	○



取組内容

排出ガス対策重機

ICT機器

○ICT機器の導入と活用

・施工管理のデジタル化等、作業の効率化や安全管理などに活用している。

・低騒音、排出ガス対策型重機を導入と活用。

※完成工事高1,000万円以上の公共工事を対象とした。

その他の取組活動

取組内容

稚鮎の放流

地域貢献活動の一環として、地元の藤岡小学校の生徒と稚鮎の放流体験学習を行いました。

【工事名】
山のみち第93号 幹線林道開設事業中村・大正線3区工事

カーボン・オフセット制度

「カーボン・オフセット付添った企画」に協賛しました。

「森林を育て」「CO₂」を削減する重要なテーマとして積極的に取り組んでいます。

汚濁水流出対策

汚濁水流出対策として、汚濁防止フェンスを設置し、四万十川への汚濁水流出対策としました。

【工事名】
令和5-6年度四万十川山路堤防低水護岸(その1)工事

油流出訓練

重機からの油流出を想定した除去作業を行いました。

漏洩箇所の特定制と復旧訓練、吸着マットを使用した除去訓練を実施しました。

【工事名】
令和5-6年度四万十川山路堤防低水護岸(その1)工事

8. 環境活動計画の取組結果とその評価

【1. 期間：令和 6 年 8 月 ～ 令和 7 年 7 月】

項目				取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	急発進、急加速の禁止	 	良く取り組めている。	○	今後も継続していく。
		不要なアイドリングの禁止		良く取り組めている。	○	今後も継続していく。
		重機による積込みを効率良く行う		段取りを考え、取り組めている。	○	今後も作業を効率よく行っていく。
	電力使用量 削減	昼休み・退社時の消灯を徹底する		良く取り組めている。	○	今後も継続していく。
		長時間使用しないOA機器は電源を切り、 unnecessaryな機器はプラグを抜く		退社時の unnecessaryなPC電源の切り忘れがある。	△	周知・徹底が必要である。
		適正な冷暖房の温度設定を徹底する		適切な温度設定ができています。	○	今後も継続していく。
用水使用量削減 (排水量削減)		こまめに蛇口の栓を閉める		蛇口を自動水栓へ切り替えている。	○	今後も継続していく。
		漏水個所を発見したら、早急に改善する		適時取り組めている。	○	今後も継続していく。
廃棄物削減	一般廃棄物	文書等で可能なものについては回覧をする	 	電子メール、LINEアプリを利用している。また、各人が必要な部分をコピーしている。	○	今後も継続していく。
		両面コピー・両面印刷をする		利用可能なものについてはできている。	○	今後も継続していく。
		資源ごみとして処理をする(学校の廃品回収への提供等)		資源ごみとして業者に回収してもらっている。	○	今後も継続していく。
	産業廃棄物	適正処理をし、可能なものは再使用・再生利用につながる処理をする		良く取り組めている。	○	今後も継続していく。
		マニフェスト管理の徹底		現場によってはスムーズな流れで進めないことがあった。	△	教育を含め、周知・徹底が必要である。
		作業ミスによる排出量の増加をさせない		排出量増加につながる作業ミスはなかった。	○	今後も継続していく。
環境保全活動の実施		ロードボランティア活動を実施する	 	目標回数を達成できた。	○	継続して取り組んでいく。
		地域のボランティア活動(清掃活動等)に参加する		県や市、各団体主催の清掃活動へ積極的に参加できた。	○	継続して参加していく。
		事務所・現場・修理工場周辺の清掃・整理整頓をする		社内/パトロール等で指摘があった。その都度、是正を行っている。	△	平時から整理整頓を心掛けるよう意識が必要。
化学物質の適正な取り扱い		適正な保管を行い、盗難に遭わないようにする	  	鍵をかけて保管している。	○	今後も継続していく。
		適正に使用し、近隣等への漏洩防止をする		漏洩などはなし。良く取り組めている。	○	今後も継続していく。
		PRTR制度対象物質の使用量、もしくは購入量の把握		購入量を把握している。	○	今後も継続していく。
環境負荷の少ない 工事の実施		環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用	 	再生生コン、再生砕石等の使用を行っている。	○	今後も継続していく。
		低騒音、排出ガス対策型重機の使用		各現場で使用されている。	○	効率よく作業を計画する。
		水質汚濁の防止対策を実施する		必要な現場では対策が実施している。	○	今後も継続していく。

【2. 具体的な計画】

項目	取組み内容	取組結果	評価	見直し
燃料使用量の削減	燃費の良いハイブリッド車を積極的に導入していく(計画:4台)	本年度は2台導入した。今後も継続していく。	△	今後も継続していく。
環境負荷の少ない工事の実施	ICT機器を活用して工期短縮を図り、各使用量の削減に繋げていく	マシンガイダンスの活用など作業の効率化に取り組んでいる。	○	今後も継続していく。

【3. 中長期計画】

項目	取組み内容	取組結果	評価	見直し
電気使用量の削減	人感センサー設置による電気の消し忘れ防止策の検討	協議を進めていく。	-	
用水使用削減	雨水利用設備の整備についての検討	協議を進めていく。	-	

9. 次年度の環境経営目標

【1. 単年度目標】

項目	単位	基準年 平成28年度 H28.08-H29.07	今年度実績 令和6年度 R06.08-R07.07	過去4年間 排出量の平均 R03.08-R07.07	次年度目標 令和7年度 R07.08-R08.07	備考 ※3
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	271,850	311,305	266,377	256,300	平均より約4%削減 ※1
燃料使用量	(L)	90,148	105,629	84,657	83,811	平均より約1%削減
【内訳】 ガソリン	(L)	25,577	40,070	37,406	37,032	平均より約1%削減
軽油	(L)	62,626	64,357	45,356	44,902	平均より約1%削減
灯油	(L)	1,945	1,201	1,895	1,876	平均より約1%削減
電力使用量	(kWh)	80,257	91,817	95,657	92,787	平均より約3%削減
LPガス使用量	(kg)	111	63	77	75	平均より約3%削減
用水使用量	(m ³)	748	888	951	923	平均より約3%削減
一般廃棄物排出量	(kg)	2,750	2,872	2,713	2,686	平均より約1%削減
産業廃棄物排出量	(t)	740	588	1,198	1,186	平均より約1%削減
産業廃棄物再資源化率	(%)	90.5	91.4	93.1	90.0	
環境美化活動	(回)	10	11	10	10	
環境負荷の少ない工事件数	(%)	(11/11件) 100	(13/13件) 100	100	100	※2

※1. 購入電力のCO₂排出量の算出については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成30年12月27日公表)の
四国電力㈱の調整後排出係数 0.535 (kg-CO₂/kWh) を使用。

※2. 環境負荷の少ない工事件数

- ICT機器の導入と活用
- 建設副産物の再利用
- 排水の汚濁防止対策
- 環境に影響の少ない工法の提案、採用 等

※3. 今年度実績と過去4年間の実績の平均を参考に、各項目別に削減率を設定。

【2. 中長期目標】

(平成28年 8月～平成29年 7月を基準年とする。)

項目	単位	基準年 平成28年度 H28.08-H29.07	次年度目標 令和7年度 R07.08-R08.07	前年度目標より約1%削減 令和8年度 R08.08-R09.07	前年度目標より約1%削減 令和9年度 R09.08-R10.07	前年度目標より約1%削減 令和10年度 R10.08-R11.07
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	271,850	256,300	253,737	251,199	248,687
燃料使用量	(L)	90,148	83,811	82,972	82,143	81,321
【内訳】 ガソリン	(L)	25,577	37,032	36,662	36,295	35,932
軽油	(L)	62,626	44,902	44,453	44,009	43,569
灯油	(L)	1,945	1,876	1,857	1,839	1,820
電力使用量	(kWh)	80,257	92,787	91,859	90,940	90,031
LPガス使用量	(kg)	111	75	74	73	73
用水使用量	(m ³)	748	923	914	904	895
一般廃棄物排出量	(kg)	2,750	2,686	2,659	2,633	2,606
産業廃棄物排出量	(t)	740	1,186	1,175	1,163	1,151
産業廃棄物再資源化率	(%)	90.5	90.0	90.0	90.0	90.0
環境美化活動	(回)	10	10	10	10	10
環境負荷の少ない工事件数	(%)	(11/11件) 100	100	100	100	100

9. 次年度の環境経営目標(原単位 売上百万円当り)

【1. 単年度目標】

項目	単位	基準年 平成28年度 H28.08-H29.07	今年度実績 令和6年度 R06.08-R07.07	過去4年間 排出量の平均 R03.08-R07.07	次年度目標 令和7年度 R07.08-R08.07	備考 ※3
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂ /百万円)	168.2	172.0	155.8	148.7	平均より約5%削減 ※1
燃料使用量	(L/百万円)	55.8	58.4	49.0	48.5	平均より約1%削減
【内訳】 ガソリン	(L/百万円)	15.8	22.1	21.6	21.4	平均より約1%削減
軽油	(L/百万円)	38.8	35.6	26.3	26.0	平均より約1%削減
灯油	(L/百万円)	1.20	0.66	1.16	1.15	平均より約1%削減
電力使用量	(kWh/百万円)	49.7	50.7	55.9	54.2	平均より約3%削減
LPガス使用量	(kg/百万円)	0.069	0.035	0.046	0.045	平均より約3%削減
用水使用量	(m ³ /百万円)	0.463	0.490	0.553	0.536	平均より約3%削減
一般廃棄物排出量	(kg/百万円)	1.702	1.587	1.563	1.547	平均より約1%削減
産業廃棄物排出量	(t/百万円)	0.458	0.325	0.702	0.695	平均より約1%削減
産業廃棄物再資源化率	(%)	90.5	91.4	93.1	90.0	
環境美化活動	(回)	10	11	10	10	
環境負荷の少ない工事件数	(%)	(11/11件) 100	(13/13件) 100	100	100	※2

※1. 購入電力のCO₂排出量の算出については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成30年12月27日公表)の
四国電力㈱の調整後排出係数 0.535 (kg-CO₂/kWh) を使用。

※2. 環境負荷の少ない工事件数

- ICT機器の導入と活用
- 建設副産物の再利用
- 排水の汚濁防止対策
- 環境に影響の少ない工法の提案、採用 等

※3. 今年度実績と過去4年間の実績の平均を参考に、各項目別に削減率を設定。

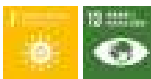
【2. 中長期目標】

(平成28年 8月～平成29年 7月を基準年とする。)

項目	単位	基準年 平成28年度 H28.08-H29.07	次年度目標 令和7年度 R07.08-R08.07	前年度目標より約1%削減 令和8年度 R08.08-R09.07	前年度目標より約1%削減 令和9年度 R09.08-R10.07	前年度目標より約1%削減 令和10年度 R10.08-R11.07
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂ /百万円)	168.2	148.7	147.2	145.7	144.3
燃料使用量	(L/百万円)	55.8	48.5	48.0	47.6	47.1
【内訳】 ガソリン	(L/百万円)	15.8	21.4	21.2	21.0	20.8
軽油	(L/百万円)	38.8	26.0	25.7	25.5	25.2
灯油	(L/百万円)	1.20	1.15	1.14	1.12	1.11
電力使用量	(kWh/百万円)	49.7	54.2	53.7	53.1	52.6
LPガス使用量	(kg/百万円)	0.069	0.045	0.044	0.044	0.043
用水使用量	(m ³ /百万円)	0.463	0.536	0.531	0.526	0.520
一般廃棄物排出量	(kg/百万円)	1.702	1.547	1.532	1.516	1.501
産業廃棄物排出量	(t/百万円)	0.458	0.695	0.688	0.681	0.674
産業廃棄物再資源化率	(%)	90.5	90.0	90.0	90.0	90.0
環境美化活動	(回)	10	10	10	10	10
環境負荷の少ない工事件数	(%)	(11/11件) 100	100	100	100	100

10. 次年度の環境活動計画の取組内容

【1. 次年度計画 令和7年8月～令和8年7月】

項目		取組み内容		担当者	期間
CO ₂ 排出量	燃料使用量	重機による積込みを効率良く行う		各部門長、各現場代理人	R07.08-R08.07
削減	削減	車両点検を定期的に行う(タイヤ空気圧、オイル等)		各部門長	//
		長期退出時は消火を行い、不必要なストーブの稼働はしない		各部門長、各現場代理人	//
		電力使用量		長時間使用しないOA機器は電源を切り、不必要な機器はプラグを抜く	各部門長、各現場代理人
	削減	冷暖房温度の適正化を図る		各部門長、各現場代理人	//
		トイレ・会議室・倉庫・給湯室等の照明は使用時のみ点灯する		三吉	//
用水使用量削減		こまめに蛇口の栓を閉める		各部門長、各現場代理人	//
(排水量削減)		漏水個所を発見したら、早急に改善する		各部門長、各現場代理人	//
廃棄物削減	一般廃棄物	両面コピー・両面印刷をする		各部門長、各現場代理人	//
		ミスプリント用紙で、可能なものについては裏面利用をする		各部門長、各現場代理人	//
		資源ごみとして処理をする		各部門長、各現場代理人	//
	産業廃棄物	適正処理をし、可能なものは再利用・再生利用につながる処理をする		川村、中野、各現場代理人	//
		マニフェスト管理の徹底		各部門長	//
		作業ミスによる排出量の増加をさせない		川村、中野、各現場代理人	//
環境保全活動の実施		ロードボランティア活動(清掃活動)を実施する		三吉	//
		ゴミの散乱防止		各部門長、各現場代理人	//
化学物資の適正な取り扱い		適正な保管を行い、盗難に遭わないようにする		各部門長、各現場代理人	//
		適正に使用し、近隣等への漏洩防止をする		各部門長、各現場代理人	//
		PRTR制度対象物質の使用量、もしくは購入量の把握		各部門長、各現場代理人	//
環境負荷の少ない		環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用		各部門長、各現場代理人	//
工事の実施		低騒音、排出ガス対策型重機の使用		各部門長、各現場代理人	//
		ICTを活用し、エネルギーの消費を抑える		各部門長、各現場代理人	//

【2. 具体的な計画】

項目	取組み内容	担当者	実施期間
燃料使用量の削減	引き続き燃費の良い車へ更新していく	役員、各部門長	R07.12末まで
環境保全活動の実施	各団体主催の清掃活動への参加やボランティア活動へ協力する	役員、三吉	随時

【3. 中長期計画】

項目	取組み内容	担当者	実施期間
用水使用量の削減	雨水利用設備の設置の検討	役員	R10予定
電気使用量の削減	人感センサー設置による電気の消し忘れ防止対策の検討	役員	未定

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

【1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果】

主な適用法規	規制内容	実施内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守 状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) 第12条 第12条の2 第12条の3	産業廃棄物の委託処理 特別管理産業廃棄物に係る処理 (水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	㊦ 委託契約の締結、許可確認 ㊦ マニフェストの交付、回収、照合 ㊦ 運搬車両へ、産業廃棄物を収集運搬している旨の表示 ㊦ マニフェスト交付状況報告書作成・報告 ㊦ 多量排出事業者(年間1,000t以上)に該当した場合、 処理計画書および処理計画実施状況報告書の提出	都度 8月 1回/年 6月 該当時	三吉 規文 川村 尊章	遵守	令和7年9月3日 令和7年5月13日 令和7年5月13日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法) 第12条	解体工事80m ² 以上、 新築・増築工事500m ² 以上、 修繕・模様替工事1億円以上、 その他の工作物に関する工事 (土木工事等)500万円以上	㊦ 発注者への書面による計画等説明 (分別解体等、再資源化等の促進、再生資源の使用)	各工事毎 8月	三吉 規文	遵守	令和7年9月3日
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法) 第4条の2	特定特殊自動車排出ガスによる 大気汚染の防止	㊦ 基準適合機械の使用(平成18年10月以降に製作されている建設機械等については基準適合表示等の貼ってあるものを使用)	1回/年 8月	川村 尊章	遵守	令和7年9月3日
騒音規制法 第14条	杭打機、びょう打機、削岩機、 空気圧縮機等を使用する作業	㊦ 特定建設作業の届出、作業敷地境界にて 85デシベル以下	1回/年 8月	川村 尊章	遵守	令和7年9月3日
振動規制法 第14条	杭打機、杭抜機、ブレーカー、 舗装版破砕機を使用する作業	㊦ 特定建設作業の届出、作業敷地境界にて 75デシベル以下	1回/年 8月	川村 尊章	遵守	令和7年9月3日
建築基準法 第28条の2	石綿その他の物質の飛散又は 飛散に対する衛生上の措置	㊦ 建築材料に石綿を添加しない。 ㊦ 石綿をあらかじめ添加した建築材料を使用しない ㊦ 居室を有する建築物で、クロルビリホス及びホルムアルデヒドを含む建築材料を使用する場合において は、建築基準法施行令で定める技術的基準に適合するものとする	各工事毎 8月	中野 量方	遵守	令和7年9月9日
四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例 (四万十川条例) 第7条 第13条 第14条	流域内において行う事業活動 に関し、四万十川の保全及び 流域の振興に努める	㊦ 指定地域内での土地の形状変更、建築物の新築その他、制限等のある行為を行う場合には、知事の許可を受けなければならない	1回/年 8月	三吉 規文	遵守	令和7年9月3日
使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法) 第42条	廃棄車両の引き渡し	㊦ 自治体に登録・許可された業者への廃棄車両の引き渡しを行う	1回/年 8月	川村 尊章	遵守	令和7年9月3日
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法) 第16条 第41条 第42条の1及び3 第43条の1～3	第1種特定製品の点検 点検及び整備に係る記録 第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務 特定解体工事元請業者の確認及び説明等 第1種特定製品廃棄等実施者による書面の交付等 ※ 第1種特定製品廃棄等実施者 ＝ 第1種特定製品の所有者	㊦ 四半期ごとに一回、対象機器の簡易点検結果を実施する ㊦ 点検及び整備に係る記録について、機器を廃棄した後も3年間保存する ㊦ 第1種特定製品にフロン類が充填されていないことを確認した場合を除き、自ら又は他の者に委託して、第1種フロン類充填回収業者に 対し、冷媒として充填されているフロン類を引き渡す ㊦ 当該建築物その他の工作物における第1種特定製品の設置の有無について確認する ㊦ 特定解体工事発注者に対し、確認の結果について書面を交付し説明する ㊦ 交付した書面の写しを3年間保存する ㊦ 第1種特定製品廃棄等実施者は、第1種特定製品に冷媒として充填されているフロン類を自ら第1種フロン類回収業者に引き渡すときは、必要事項を記載した書面(回収依頼書)を交付する ㊦ 第1種特定製品廃棄等実施者は、第1種特定製品に冷媒として充填されているフロン類を自ら第1種フロン類回収業者への引き渡しを他の者に委託する場合において、委託契約を締結したときは遅滞なく、必要事項を記載した書面(委託確認書)を交付する ㊦ 第1種特定製品廃棄等実施者は、回収依頼書の写し又は委託確認書の写しをそれぞれ当該交付した日から3年間保存する	4回/年 8月 該当時 該当時 該当時 該当時	三吉 規文 川村 尊章 中野 量方 三吉 規文 川村 尊章	遵守 — — — —	令和7年9月3日 — — — —

主な適用法規	規制内容	実施内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守 状況	確認日
浄化槽法 第10条 第11条	保守点検、清掃	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2ヶ月毎に登録業者に保守点検を委託する ㊦ 年に一回以上の清掃を清掃業者に委託する ㊦ 年に一度、法定検査を受ける 	6回/年 8月	三吉 規文	遵守	令和7年8月20日
大気汚染防止法 第18条の15 第18条の17 第18条の18	粉じんの規制 特定工事	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 解体等工事実施前の特定工事に該当するか否かの調査と報告 ㊦ 解体等工事施工時に調査結果を掲示板に掲示 ㊦ 特定工事施工時には作業基準を遵守 	各工事毎 8月	川村 尊章	遵守	令和7年9月3日
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法) 第2条 第5条	第一種指定化学物質等取扱事業者 排出量及び移動量の把握・届出	<ul style="list-style-type: none"> 【対象業種】 ㊦ 自動車整備業が含まれる 【従業員数】 ㊦ 常用雇用者21人以上 【取扱量】 ㊦ 第一種指定化学物質年間取扱量1t未満のため非該当 ㊦ 特定第一種指定化学物質の取扱いがないため非該当 ㊦ 届出必要なし 	該当時	川村 尊章	—	—

【2. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無】

令和 6年 8月より令和 7年 7月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

12. 代表者による全体評価と見直しの結果

【全体評価】

本年度、二酸化炭素（CO2）排出量は目標を達成することが出来ませんでした。

ガソリン、軽油の使用量の目標を達成することが出来ませんでした。重機がよく稼働する工事が多く、また工事現場が遠方であった事などが、目標未達成の大きな要因となりました。

人手不足が叫ばれていますが、職員は前年より3名増加し若い世代の職員もいます。これらの職員を含め全役職員でICT施工の活用で生産性向上、工期短縮を図り環境負荷の低減につなげられるよう、職員のレベルアップおよび機器の購入を実行しています。

社会的貢献活動としては、恒例行事となっています地域の小学校の生徒さんを交えたアユの放流体験学習、ゴミ拾い活動や歩道花壇への花植え活動、カーボンオフセットCMへの協賛など様々に協力させていただきました。また、いつ起きてもおかしくない次の南海トラフ地震への備えとして、工事の施工に御協力いただいています地域住民の方と一緒に、防災炊き出し訓練を実施させていただきました。今後も可能な限り協力をさせていただきますと考えています。

これらのことから、役職員に環境配慮への意識が浸透し、環境活動が実行されていますので、エコアクション21は環境経営システムとして有効に機能していると判断できます。

【見直しの結果】

環境経営方針、環境経営目標、環境活動計画、環境経営実施体制の変更の必要性なし。

【指示事項】

- ・ICT施工技術の向上。
- ・社用車の入れ替えが必要であれば、積極的にハイブリッド自動車を採用すること。
- ・地域貢献活動を積極的に実施しよう。
- ・SDGsの取り組みを行う。

令和 7 年 10 月 27 日

豚座建設株式会社
代表取締役 佐田 憲昭